

Title	特集3 : であいともものづくり : ALS 春の和歌山合宿を通して
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 18 P.21-P.21
Issue Date	2012-05-17
Text Version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/11094/23010">http://hdl.handle.net/11094/23010</a>
DOI	
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

和歌山の ALS 患者さんとの幾度も交流を通して、学生がものづくりなど様々なことを学んでいる ITP-SL（詳細は本特集末尾 p.30 に掲載）の活動。今までに立正大学や湘南工科大学、立命館大学などから多くの学生が参加しており、大阪大学の倫理学・臨床哲学研究室では、昨年度から数人が関わっています。

今回は、3月の12日から13日にかけて行なわれた春合宿について。

おもに ALS 患者さんと学生の交流や、学生が協力しながら作った患者さんのためのマッサージ機「ほぐすんです」の贈呈を中心に、立正大、湘南工科大、大阪大の様々な学生からの視点を織り交ぜつつ、活動の様子をお届けします。

### 特集3

# であいともものづくり

—ALS 春の和歌山合宿を通して—

